



2020・11・21

第 392 号

101-0065 東京都千代田区

西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

日本こそ米の核の傘を離脱し平和外交を

政府は核兵器禁止条約の批准を
【岡山県高梁市／高梁9条の会・原水協高梁協議会】 高梁9条の会と原水協高梁地区協議会は11月16日、市内のスーパー・イズミ前で合同のスタンディング行動を行いました。合同の行動は3回目。9条の会の行動は通算197回目になります。

行動には9人が参加。「核兵器禁止条約の批准国が、ついに50カ国に達し、来年1月22日発効することになりました。みなさんとともに喜びあいたい」「核兵器禁止条約は、核兵器の非人道性をきびしく告発し、その開発、実験、生産、保有から使用と威嚇に至るまで全面的に禁止して、完全廃絶までの道筋を明記している画期的な国際条約です。菅政権、日本政府も条約を批准するよう強く求めていきましょう」「日本政府が憲法を高く掲げて、アメリカの核の傘から抜け出して平和外交を進めることを求め、自衛隊を海外へ派兵する改憲に反対する運動を一緒に」と訴えました。

また菅政権が日本学術会議が推薦する6人の任命を拒否した問題は、科学者への攻撃にとどまらず、憲法が保障する思想・良心、信教、表現、言論の自由への攻撃です。

憲法全体と国民全体への攻撃です。侵略戦

各界からの一言メッセージ③

○永井博（新日本スポーツ連盟元会長）

「新しい憲法のはなし」で育った世代です。日本国憲法第9条は「人類の宝だ」ということを学びました。変えるのではなく、生かして真の平和を創りましょう。

○清水雅彦（日本体育大学教授）

各地の皆さんの取り組みがあったので、改憲を止めることができました。あともう一踏ん張りです。1年以内に必ず総選挙があります。「市民と野党の共闘」で政権交代を実現しましょう。

○柳澤遊（慶応大学経済学部教授）

9条に加えて「学問の自由」「思想の自由」が危ぶまれる状況になりました。日本国憲法の戦後史とその理想について、一層の理解を深める国民運動があらためて必要になったと痛感しています。

戦争に走った反省の上につくられた憲法を守り生かし、平和な日本を子どもや孫たちに引き継ぎましょう」と訴えました。

スーパーの買い物客や近所の市民が手を振ったり、車のクラクションを鳴らして応

援する人もあり、参加者は励まされました。

(高梁 9 条の会事務局・小阪洋志記)

通行人の積極的署名に励まされ

【奈良県生駒市／生駒九条の会】

11 月 9 日、生駒恒例の 6・9 行動。今回は歴史的な核兵器禁止条約が発効の運びとなり、10 月 29 日からはじまった「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める」新署名行動を生駒でも始めました。本日の参加は男性 6 名、女性 9 名の計 15 名で、コロナ感染に気をつけてスタンディング宣伝署名を行いました。

横断幕をもちプラスターを掲げてのスタンディングとマイクの宣伝です。真ん中に机を置いて署名は自由に行ってもらいました。

新署名の訴えに応え、「被爆国の日本が批准しないのはおかしい！」と 6 名の方がわざわざ寄ってきて署名をしてくれました。

被爆者の願いと運動で一步前進

【奈良県／平城ニュータウン九条の会】

平城ニュータウン九条の会は 11 月 9 日に近鉄高の原駅で街頭宣伝を行いました。トークでは、10 月 24 日ホンジュラスが 50 カ国目の核兵器禁止条約の批准を行い、条約は来年 1 月 22 日に発効されることになるため、被爆者の 75 年の願いと活動が実を結び一步前進したとの報告と、署名を始め支援していただいたことに対するお礼を述べ、今後も日本政府に条約の批准を求める活動への協力をお願いしました。

チラシを 2 種類配付しました。2020 年の沖縄慰霊の日、高良朱香音さんの平和の詩

「あなたがあの時」を配布。もう一枚は「チヨコちゃんと太郎君の会話。令和おじさんなんちゃって浮かれていいの？」を配付、50 枚が短時間でなくなりました。菅政権に代わって、携帯電話料金の値下げ、不妊治療の支援などが行われる一方、「自助・共助・公助」などや「学会議会員の任命拒否」などへの不安もあります。菅政権は 9 条改憲の実現に向けて着々とすすめており、「改憲 4 項目」を年内に提案するとの方針をかため自民党憲法調査会も再開される状況になっています。改めて「憲法 9 条」を守り平和外交で戦争を許さない世論を広げていこうと思います。

軍事費ではなくコロナ対策に

【広島県／女性 9 条の会・ひろしま】 女性 9 条の会・ひろしまは 9 日、広島市の繁華街で宣伝し、改憲発議反対の署名への協力を呼びかけました。10 人が参加し第 2 次安倍政権以降、毎年増え続ける軍事費の推移を示したビラを配りました。

「署名したい」と近づいてきた女性 (84) は、朝鮮で終戦を迎えたことをふり返り、国のために死ぬ覚悟をしていたことや自決用の手りゅう弾を親から持たされていたことなどを語り、「そんな時代に絶対させてはだめ。安保法制に反対した人などを菅首相が任命拒否していることに、とても強い不安を覚えています。9 条は守らないといけない」とキッパリ。

福山市の男性 (22) は「コロナで経営が厳しい中小企業や病院にこそ、予算は使ってほしい。米国の顔色を気づかうのでなく、9 条を守り戦争も核兵器もノーと言い、核

兵器禁止条約に一日も早く批准する政府であってほしい」とのべました。

昨年7月の参院選をめぐる河井夫妻の大型買収事件を「絶対に許せない」という女性（50）は、臨時国会での菅首相の任命拒否問題など支離滅裂な答弁にも腹がたってしょうがない。こんな政権は即刻辞めていただきたい」と話しました。

安倍政権退陣させた共闘さらに

【徳島県／九条の会徳島】 九条の会徳島は9日、JR徳島駅前の国道交差点で、毎月定例のスタンディング宣伝を行いました。参加者は交差点の4ヶ所に分かれ「守ろう9条いかそう憲法」の横断幕や「I ♥ 憲法」のプラスターなどを掲げアピール。車から手を振って激励する姿がありました。

春田徳島市議（無所属）は「菅首相は安倍政権より強権的姿勢を示している。改憲派は政権が代わっても改憲への執念を持っている。私たちも運動を広げなければならない」と語りました。県革新懇の山本茂事務局長は「安倍政権を継承するのが菅政権。気を緩めてはいけない」と強調。「安倍首相を退陣に追い込んだ市民と野党の共闘をいっそう強めたい」と力をこめました。

学術会議員任命拒否に批判集中

【宮城県／宮城県内九条の会連絡会】

宮城県内九条の会連絡会は10日、仙台市の中央通繁華街で、憲法9条を守る宣伝をしました。15人が参加し、県うたごえ協議会の女性が平和の歌を響かせるなど、にぎやかに署名を訴えました。

横断幕を掲げビラを配りながら交代でマ

イクを握り「安倍政権の継承を掲げる菅政権は、日本学術会議の任命で、戦争法等に反対した人を排除しました。学問の自由や民主主義が脅かされています」と訴えました。

「がんばってください」と話す女性や「私は署名するくらいしかできないけど、憲法を守るためよろしくお願いします」と語る仙台市泉区の高齢の女性など、多くの市民がペンをとりました。

青葉区の60代の女性は、「9条に自衛隊を書き加えてはいけません。9条が変わってしまうから」と話し岩沼市から買い物に来た笠井輝子さん（73）は、「最近、きな臭いことが多くて、平和な世の中が続いてほしいので、憲法を変えてはいけなと思います」と語りました。

仙台市若林区の菊地真弓さん（84）は、「（任命拒否された）加藤陽子さんは、反戦の立場ではっきりとものを言うので、外されたんじゃないでしょうか。就任早々でこういうことをする人っていやですよ」と署名しました。

厳寒の中ポケットから手を出し

【青森県／青森県九条の会】 青森県九条の会は10日昼、雪と寒風吹く青森市の新町商店街で、新署名「改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」を広げる街頭宣伝・署名行動を繰り広げました。署名行動には、マフラーや厚手のコートに身を包んだ14人が参加。肩を丸めて歩く市民へ「ポケットの中の手を少しの時間出して、署名に協力を」と呼びかけました。

街頭では、「学術会議の問題は菅（首相）

さんが悪い」「改憲したがる首相は怖い」と菅政権への怒りや改憲反対の声が寄せられました。

自転車止め、署名した女性(73)は、「戦争は絶対に嫌です。私は、憲法を学ぶ機会はなかったが、子どもたちのために、学校で学ぶ機会を与えて欲しい」と語りました。

「9条は大事」と署名した女性(85)は、核兵器禁止条約に日本政府が参加しないことを批判し、「9条と核兵器禁止条約はセットだべ。被爆国なのに、平和に自から背けていて、マイネ(だめ)」と憤りました。

84歳の女性は、「青森空襲では、焼夷(しょうい)弾で町は真っ赤に染まって人が次つぎ殺されました。あの時の光景がいまも目に焼き付いています。私は9条を変えることは戦争の道だと訴え続けると決めています」語りました。

菅政権は新自由主義政策に力点

【東京都調布市／調布九条の会】 調布九条の会の「憲法ひろば」第160回例会は11月8日夜、調布市文化会館に木下ちがやさん(明治学院大学国際平和研究所員)をお招きし、「安倍政治の終わりから新しい政治へ」をテーマにお話をいただいた。参加者は32人、質疑・討論に熱がこもった。

木下さんは、「安倍政権のもとで8年かけても改憲は一步も進まなかった。これは今後の政権が改憲をすすめることにすさまじい障害になっていることを強調したい」と述べたうえで「そのなかでなぜ菅政権が生まれたか」について、「実はポスト安倍に関して、麻生は名門出身でない菅を排除しようとしていた。ところが検察庁法改正が挫

折したため、安倍を守るためには安倍側近の体制を残したまま首相に据えることのできる菅しかなかった。しかし党内基盤を持たない菅は、もともと安倍がやった日本学術会議の任命拒否問題でも右往左往している。政策的には菅は改憲よりも新自由主義政策に力を入れている」ことなどを明らかにしました。(調布「憲法ひろば」第186号)。

「敵基地攻撃」論を学習

【横浜市青葉区／青葉台地域九条の会】

＜活動報告＞〇月例会 10月20日石畑さんの「敵基地攻撃能力保有の動きを考える」と題する学習会で21名に多くの参加者があり、広い多目的室は一杯になった。

石畑さんは、2015年9月の集団的自衛権行使を認めた安全保障法＝戦争法の強行採決と2020年6月の敵基地攻撃能力に前向きな首相記者会見の二つが安政法制の分岐点ととらえ、この分岐点にまつわる代表的な論議を紹介してくれた。今回敵基地攻撃能力がクローズアップされたが、実はすでに5年前「発射されようとするミサイル基地攻撃」は法理論上は合憲との政府見解をテコに専守防衛を逸脱する議論が始まっていた。

この敵基地攻撃能力保有も学術会議攻撃なども政治の正面ではなく、自民党のPTなどの見えないところで工作が始まり、あつという間に国民が知らないところで正面に出され強引に進められるという国民主権無視が権力者の常とう手段になっている。石畑さんの報告にもあるように、我々自身が注意怠りない状態にしたい。(「青葉台地域九条の会ニュース」No158)